

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



ひとり居の小さき炬燵とひとり言
 旭町 宝澤 房子
 折鶴の手もとにこぼる早春陽ざし
 西岡町 渋谷みさ子
 十人で飲む甘酒や女人会
 西原町 児玉久美子
 春雪や余白にこめる一行詩
 緑町 池田 良子
 縫ひぐるみの鼻作る雛の手に
 南桜町 宮腰 幸子
 亀鳴くや一人旅路の無人駅
 仲町 玉野 研一
 残る実を啄む生命春待ちぬ
 西町 金澤 頼子
 晩学の句意をめぐらす朧月
 元町 印牧 安子
 晩学や部屋にさし込む春の月
 緑町 齋藤 嘉子

晩学に真摯な媼春兆し
 仲町 坂部 和子
 青きもの刻みて腕に春浮かす
 元町 西崎 弘子
 ラジオから世界の気温春隣り
 屯田町 古屋 克江
 春雷のひとつ聞こえて耳澄ます
 仲町 梅基 文子
 無口なる夫の差し出す桜餅
 旭町 大河 博子
 久々の朝日に雛の眩しそう
 西町 岸波 君江
 寝転びて一直線の春日浴び
 西町 杉浦とし枝
 この町を離れる君になごり雪
 藤本町 鈴木ゆき子
 道産子の雪にも映えて金メダル
 東町 高草木喜代子
 凍てゆるみ一袋いったいの土封を開け
 西岡町 高瀬久美子
 番犬の縄のたるみや春兆す
 東町 高橋世津子
 屋根の雪流れるように落ちる午後
 西町 文梨 清子
 朝冷えの新聞を手に愛犬と
 旭町 大河 茂
 喜寿近き俳句貧乏春しぐれ
 仲町 芳賀 星子



『うちゅうはきみのすぐそばに』

文・いわや けいすけ
 絵・みねお みつ
 (福音館書店)

私たちが暮らす地球と宇宙のさかい目は一体どこにあるのでしょうか？地面の高さから、鳥の飛ぶ高さ、雲の高さ、宇宙ステーションの高さ……と、さまざまな高度から見た景色が描かれたこの絵本で、遠いようで意外と近い「宇宙」に出かけてみませんか？

information

絵本の館から

新着図書

- ・おらおらでひとりいぐも (若竹千佐子著) ・ヨチヨチ父ーとまどう日マー (ヨシタケシンスケ著) ・人生の居心地をよくするちょうどいい暮らし (金子由紀子著) ・ニューサンドイッチ 有名店・繁盛店のレシピとデザイン (旭屋出版編集部編) ・トンカチくんと、ゆかいな道具たち (松井スーザン作、堀川真絵) ・きくち駄菓子屋 (かさいまり文、しのとうこ絵) ・はるの くさばなあそび (佐野高太郎写真) ほか

今月のおすすめ